

異議あり!!

戦争する国づくり

消費税10%増税

原発再稼働

政党助成金

日本共産党 土浦市委員会 雇用・福祉対策部長

元自衛官

いのうえ けいち

井上 圭一

公約実現に向け 全力を尽くします!

日本共産党

対案を示し、行動する

【略歴】1962年横浜市生まれ(52歳)/日本大学文理学部国文科(通信)中退/陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地三等陸曹、運転手、葬祭会社勤務を経て、葬祭会社設立/納棺師・在家僧侶/土浦市民主商工会副会長・土浦市手をつなぐ育成会会員/土浦市荒川沖在住/家族:妻、長男、次男

こんにちは。昨年の総選挙では大変お世話になりました。軍事費だけが突出する来年度予算、安倍首相の戦争準備は本気で。私も本気で阻止するために頑張ります。

格差拡大のアベノミクスは地方も破壊し、経済成長を引き下げ日本経済をこわします。

今やらなければならないことは、若者や高齢者、障がい者などが安心して暮らせる「住みよい街」の実現です。私はこれまでの経験を生かし、対案を示し、行動します。よろしく願います。

ごあいさつ

井上圭一さんと バトンタッチします

20年間お世話になりました。私は“税金の無駄使いは許せない”をモットーに、穴塚大池周辺開発中止、入札制度改善、水道料金値下げ等に取り組んできました。今後も、水道事業の抜本的改革と大幅料金値下げを目指しますが、世代的

継承のため、実行力抜群の井上さんに願いを託し、しっかりバトンを渡します。倍増の応援を宜しくお願い致します。私も精一杯バックアップしていきます。

市議会議員 古沢 喜幸



私たちも 井上圭一さんに期待します

土浦民主商工会 会長 高橋 孝

井上さんの「ネットワークの広さ」と「フットワークの軽さ」にいつも感心しています。



日本の経済を支えている中小業者がいま、消費税増税などの影響でいつまで商売が続けられるかという不安を抱えています。井上さんはそんな中小業者の声に耳を傾け寄り添いながら生業とくらしを守る先頭に立って活躍しています。抜群の「つながる力と行動力」をぜひ市政に生かしてがんばってください。

荒川沖 在住 宮澤 さやか

2人の子育て真最中。歩道の不整備や、交通の便の悪さ、急な子どもの預かり先の確保の難しさ、月初めには窓口負担しなければならない医療費など、不便な点がいっぱいです。



また、政府は原発再稼働や集団的自衛権行使など、子どもたちの未来が心配です。安心して子育てできる社会にしていくためにも、私たちの意見を親身になって聞いてくれる井上さんを応援します。

★フェイスブックにて活動記録 発信中!

土浦民報

2015年2・3月号外 井上圭一さんの人柄を紹介します
発行/日本共産党土浦市委員会 TEL(821)5778 FAX(821)5757

井上圭一さんにあなたの願いも託してください



井上圭一は 困っている人によりそい 平和・暮らしを守る力に 一生懸命がんばります



日本共産党

生き方をちゃんとしたいと 自衛隊に入隊

井上さんは学生時代「何も考えず、いい加減に暮らしていた自分の生き方を変えたい」と日本の平和や災害復旧にがんばる自衛隊を自分の進む道と決意。陸上自衛隊武山駐屯地入隊、1981年陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地に赴任、約9年間勤務しました。



元自衛官が、 なぜ共産党に入党?!

政治に関心がなく、政党はどれも同じと思っていた井上さん。誘われた日本共産党演説会で、国中が戦争に突き進んだあの時代、命がけで戦争に反対した政党が日本共産党だったことを知り、「ぶれない政党」＝日本共産党の本質を知りご夫婦で入党しました。



『蟹工船』作者・小林多喜二も、節をまげず命をかけて闘った共産党員の一人です。

大好きな土浦を もっと住みやすい街に

土浦に住み35年の井上さん、「故郷横浜では、学校の校庭もアスファルトで、土を踏むことはなかった」、「自然豊かで歴史ある土浦は、子どもたちの故郷」土浦は愛する家族を育んでくれた大好きな街。土浦をもっと住みやすい街にしたい」と語ります。



2人の障がい児 持つ子の親として

2人の障がい児の子育てに奮闘してきた井上さん。子どもの作業所での収入は給食費でほとんど消えてしまい、送り迎えも親に負担がかかる現状。親が先立ったあとを考えると障がい者福祉を根本的に変えないといけないと訴えます。



政治をゆがめる「企業・団体献金は禁止」、「政党助成金は廃止」に
日本共産党の主な収入は「しんぶん赤旗」の購読料や国民のみなさんからの募金です。だから国や電力会社にハッキリものが言えます。

集団的自衛権 行使容認 ー海外で戦争する国づくりー

総選挙では、もっぱら「アベノミクス」を争点化してきた安倍首相。選挙が終わると、「集団的自衛権行使の信任を得た」として、いっせい地方選挙後、法制化に着手する構えです。

“いざ、集団的自衛権行使”のとき「出動しろ」と命令される側の幼子と妻を養う若い自衛官の立場を想像できないのでしょうか。

井上圭一

熱く語る「私は、元自衛官だからこそ言いたい」

自衛官は入隊時に、専守防衛を前提として宣誓してきました。それは憲法九条のもと海外で戦争をしないことが前提でした。今度の集団的自衛権行使で、自衛官約23万人にあらためて宣誓させられるのでしょうか。家族に対しても了承を得られるのでしょうか。



海外で他国の人たちを自衛隊が殺害したら、その矛先は日本で暮らす一般国民に向けられます。戦争に限定的・必要最小限など通用しません。『憲法九条の重みを感じてください』先の侵略戦争の反省のもと、戦争はもうしないと世界に約束したのです。どんなに世界の情勢が変わろうとも、私たち日本人は平和憲法を貫く

必要があるのです。



井上圭一は 国の悪政にも
ハッキリものを言い
対案を示し行動します

☆憲法九条を次世代へ

- ・集団的自衛権の行使容認の閣議決定撤回を求めます
- ・憲法9条にノーベル平和賞を
- ☆原発ゼロの日本を
- ・東海第2原発の廃炉を求めます
- ・廃炉技術を新産業に
- ・再生可能エネルギー推進
- ・子どもの内部被爆の健康調査

☆住みよい土浦市のために

- ・消費税増税中止を求めます
- ・水道料金、国保税引き下げ
- ・障がい者対策の拡充
- ・老後、子育て安心のまちづくり
- ・災害に強いまちづくり

☆税金の使い道は厳しくチェック

☆無駄な公共事業に歯止めを



井上圭一の
基本活動スタイル

調査
しつかり

アンケートなど市民の声をキャッチし現場に出向きしつかり調査する

発言
きちんと

切実な声をきちんと議会に必ず届けその実現に向け奮闘する

報告
かならず

議会の様子を報告会やニュースなどで必ず報告する